



いのち・絆・学び

山辺町立山辺中学校 学校だより 令和8年1月30日 第7号 文責：校長

雪はきふれ愛ボランティア ～四半世紀続く伝統の奉仕活動～

インフルエンザの影響により予定よりも1週遅れとなりましたが、1月28日より「雪はきふれ愛ボランティア」を開始しました。本校生徒が町内のお年寄り宅を訪問して雪はきをさせていただき奉仕活動で、これまで25年間の長きにわたり継承されてきたものです。

今年度の参加者は97名の2年生。依頼のあった15件へ訪問し、寒さにも負けず、家周りの雪はきに精を出しています。

一人で暮らしているお年寄りの中には、人と会話をする機会がほとんどない方もいらっしゃると聞きます。本校生徒の訪問でお年寄りの皆さんを元気づけてあげたいという願いもあって「雪はきふれ愛ボランティア」という名称にしています。

日頃から様々な形で町民の皆様に支援していただいています。このような活動を通して少しでも恩返しができるのであれば幸いです。



駅伝チーム 始動

12月中の募集を受けて1,2年生の男子53名、女子15名が名乗りを上げ、総勢68名の駅伝チームが発足しました。来春4月の地区中総体駅伝大会に向けて練習を始めています。

チーム発足式の校長挨拶では、駅伝の伝統校青山学院大学の原監督の話を紹介しました。「監督に就任したころはとにかく早く結果を残したくて、良い記録を持っている学生を徹底的に集めてみた。しかし優勝することはできなかった。素晴らしい記録の持ち主でも、生活態度が悪かったり、練習中にマイナスの発言をしたりする人がチームにいと、結局は向上する集団にならないことが分かった。そのことが分かってからは、選手をスカウトするときには、練習の前後や練習の合間にその選手が仲間にどんな関わり方をしているか、どんな言葉を発しているのかをよく観察するようにしている。最終的にスカウトするのは、前向きな言葉を発して仲間に明るく接する学生だ。明るいオーラを発しているような学生をスカウトするようしたら、次第にチームは強くなり、勝てるようになった。」という話です。

長距離走の練習は苦しいものです。大会までは長丁場となります。くじけそうになった時にも励まし合い、明るい雰囲気や大事にして練習に取り組んでほしいと願っています。頑張る駅伝チームを全校生で支え、応援していきましょう。



令和7～8年度 県中体連優秀指定選手

陸上	2年 K・A さん ・ 2年 T・Y さん 2年 E・M さん
バスケットボール	2年 S・A さん ・ 2年 S・Y さん
サッカー	2年 W・Y さん ・ 2年 S・H さん
バレーボール	2年 S・Y さん
柔道	2年 K・Y さん ・ 2年 K・T さん 2年 K・R さん ・ 2年 T・S さん 1年 H・A さん
剣道	2年 O・N さん ・ 1年 M・T さん

本校の同じ部の仲間からも、また、他校生からも目標にされる立場です。自覚をもってしっかり部活動に取り組んでください。

各種コンクール・コンテスト等入賞

村山地区アンサンブルコンテスト（吹奏楽）

銀賞 木管八重奏 ・ 銀賞 打楽器四重奏 ・ 銅賞 金管八重奏

心あたたまる看護エピソード（山形県看護協会）

優秀賞 3年 E・C さん

JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト

国際協力特別賞（全国表彰） 2年 N・R さん

生命保険文化センター中学生作文コンクール

都道府県別賞1等 2年 S・F さん

安達峰一郎記念世界平和弁論大会

山形大学認定都市・地域学研究ユニット所長賞 3年 K・R さん

受賞 おめでとうございます